

新潟県長岡市 渡辺 雄也（わたなべ ゆうや）

～ 新潟アルビレックスBBでまちを元気に！ ～



協力隊に応募したきっかけ

新潟アルビレックスBBに来る前は、米国の大学に留学していました。そこで、スポーツが地域を動かし、人々をつなげる力を持っていることを肌で感じました。その経験から「日本でもスポーツを通じて地域に貢献したい」と思い、全国のクラブを調べる中で、行政とスポーツクラブの両方に関わることができる“地域おこし協力隊”という環境に大きな魅力を感じ、応募を決めました。

今後の抱負・任期後の目標

「新潟アルビレックスBBでまちを元気にする」ことを目標に、地域に根差したクラブづくりを進めていきたいと考えています。そのために、クラブとして主体的に地域の皆さまと関わり、“身近に感じてもらえるクラブ”を実現していきます。任期後は、スポーツを軸としたまちづくりに関わるキャリアを模索中です。

活動内容

● 教育連携

長岡市教育委員会のカリキュラム「夢づくり教育」に導入いただき、あいさつ運動、バスケットボール体験教室、選手によるキャリア教育などを実施しています。

● 環境整備

地域企業の皆さまの協力によるバスケットボールや得点板の寄贈など、物的環境の整備に加え、観戦招待企画やアウェイ戦のパブリックビューイングを公共施設・飲食店と連携して実施するなど、“コト”の提供にも取り組んでいます。

● 地域訪問・交流活動

昨シーズンは選手たちが20回以上の学校や地域団体への訪問を行い、地域との交流を積極的に実施しました。

● 観戦招待企画

バスケをより身近に感じてもらうために、地域の企業様や自治体と連携し、地域の子どもたち、障がいのある方々、シニア層を対象とした観戦招待企画を行っています。

